

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：てんかん研修プログラム

病院名： 静岡てんかん・神経医療センター

2. 診療科：(専門領域)

脳神経内科、精神科、小児科、脳神経外科

3. コースの概要

留学期間中、てんかんの症例を経験する。

4. 目標

てんかん発作、てんかん分類・てんかん症候群の診断、てんかんの外科治療に必要な基礎的知識、検査法、治療法の基本を修得することを目的とする。

てんかん学の専門知識と幅広い臨床能力を取得し、てんかん臨床専門医を目標に全人的な育成を行う。

5. 取得手技

てんかんにおける各発作型、各症候群の診断基準を理解し、的確な診断および各疾患の活動性、重症度の基礎的判断力が修得できる。てんかんに関連する発作症状、脳波、各種神経放射線検査を理解し、所見記載法を修得できる。てんかんに関連する各種神経心理検査を理解する。てんかんに関連する精神症状、神経症状、運動障害、行動異常などの合併症を評価し、治療の必要性を判断できる。各種抗てんかん薬の使い分けと使いこなしを修得する。てんかんの外科治療適応決定のための検査計画を立て、各検査を遂行し、結果を判読・理解することにより外科治療適応の可能性の有無を判断できる。

6. 研修期間：6ヶ月

7. 募集人数：1人

8. 診療科の実績

主要疾患	入院数(年間)
てんかん	3151人

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 16名

主として研修指導にあたる責任医師 8人 (経験年数 10~30年)

小児神経科：今井克美、大谷英之、山口解冬

脳神経内科：荒木保清、川口典彦、徳本健太郎

精神科：西田拓司

脳神経外科：臼井直敬

10. コンセプト

当科で取り扱う疾患はてんかんには経過良好なものから極めて難治に経過するものまで様々なものが存在し、外来受診もしくは入院加療を受けるために全国から患者が集まっている。非てんかん性発作の鑑別に始まり、てんかん発作とてんかん分類・症候群の診断、てんかんを生じた基礎疾患の鑑別、てんかんに合併する身体、行動、運動、精神機能障害の診断と対応法、難治例におけるてんかん外科治療の適応判断のために、必要な基礎的知識および技能を修得する。